

ミヤマカラスアゲハ

西野さんから自宅前の路上で衰弱していたという蝶の写真が送られてきました。ミヤマカラスアゲハのようです。黒い大きな蝶なので飛ぶ姿を見た人は多いと思います。カラスアゲハとミヤマカラスアゲハの識別はかなり難しく一見ただけでは相当なマニアでなければ出来ないレベルですが、西野さんの写真は識別可能な特徴が見てとれます。前翅の先端から下にかけての縁の形とか美しい金緑の鮮やかさとかが決めてとなります。大きさも並べて較べればミヤマの方がやや小振りです。札幌ではミヤマの方が多いと感じています。撮影の後よろよろと飛び去る蝶をヒヨドリが襲って拉致したそうです。生き物たちは死をも無駄にはしないのです。



2013年8月23日支笏湖コンサの森での育林作業では、前回残した区域を4人で1時間余で片付けました。植えたドドマツも後1年除草は必要かな?と思う段階に育ってきています。天然更新ではケヤマハンノキが断然多く、次いでシラカバ。そして列間にはクサギが多く今花盛りでした。クサギの花にはミヤマカラスアゲハが蜜を吸いに来ます。花が蜜を出す期間は長くはないので、蝶たちにとっては一時のご馳走なのでしょう。もう夢中な様子で花にたかかります。

こんな状態ならば捕虫網があれば捕獲は簡単です。

幼虫の食草はミカン科の野生植物で北海道ではキハダです。本州以南ではカラスザンショウに依存しているようです。分布は日本全土の他に朝鮮半島から中国にまで広いようです。

支笏湖国有林では6ヶ所も担当しているので、夏場の除草作業は過酷な肉体労働ですが、大自然の中で全身汗まみれでも、わが高齢猛者たちは一人として熱射病などには罹りません。作業を終えての宿で一風呂あびてのビールはこれ以上の飲み物はないと思うものです。

